

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 14

2016年12月19日発行

12月の聖句

「ひとりの嬰兒（みどりご）がわたしたちのために生まれた」

（旧約聖書 イザヤ書9章5節）

イエス様はとてもかっこいい男の子だったそうです。きっとおむつもすごく早くとれたのでしょうね。どんな布おむつだったんでしょうね？

自立の第1歩 おむつはずし

生きる基本はまず食と排泄。

幼児期に獲得させたい大事な力です。

今年もおうちと幼稚園で力を合わせてとりくんで

きました。今年、オムツ卒業するのが遅くなっていて今年も20人以上のオムツをかたはしからはずしてました。

幼稚園は集団生活なので小さい子も「みんなハラツなのに自分だけオムツはずかしいな」というきもちが芽生え、自分からチャレンジしやすい環境です。

おうちとの連携が必須！

小性格によっておむつはずしの苦労も様々。おうちと作戦を話しあって混乱させないようになります。

大丈夫だよ。

おうちのやり方をまねて不安の強い子は座らせて抱きかかえ「オムツ以外に排泄しても大丈夫」と優しく言ってきかせたり、おうちと同じ声かけをするなど工夫しています。

もって帰ります。ありがとう。

満員オムツクラスにあらりと並んでいたオムツの袋も日に日に少なくなってきました。うれしい卒業です。

達成感を得られる大きな経験

先生方が言うには

「できたー！」

自分できちんとトイレで排泄できた、というのは小さい子にとっては大きな達成感、大きな自信になりそこで自信がついてまた次もできる。自尊心が育っていきます。オムツをとるといってなんでもない3つのこと、いつか自然にとれると思ってしまう、そうだがこの達成感をしっかり得ることはやはり人間として大切なことだと感じます。



だからこそ、おこらず、焦らず、励ましながらすすめる事が大切です。

きっと神様が見守っています

それにして先生方の献身的な働きには頭が下がります。介護や看護の現場も

同じなのでしょうね。未4の息子たちは1歳前から保育所と朝晩の保育ママに頼りっぱなしだったので「こんなにうんちやおしっこ、汚れ物の始末をしてくれてたのか!!」と今さら改めて感謝するしかありません。



しまった、うんちが漏れに！

ヒッ

仕事だけ、それ以上に子どもの心によりそっている先生方の姿...



だいじなことがあったよ。

あれ？うんちが乾いてとれない？

おうちでできたのかな？

ちゃんと早まってるよ。

クリスマス献金

おうちの方もこんなふうな日々がんばってるのでしょうか。

手作りのかわいらしい献金箱、おうちで献金して下さり、ありがとうございます。南富良野への支援を考えていたのですが、寄付の受け付け終了ということでしたので、お知らせにも書いたように、今年の2学期とクリスマスの献金は、聖十字幼稚園の前園医・榎戸健次郎先生（社団法人キリスト教海外医療協会・NPO 法人とさんこ海外保険協力会）のネパールでの救援活動に送りたいと思います。ネパールの医療環境は以前から大変だったのですが、昨年度のネパール大地震で甚大な被害を受け、今も苦しむ子供たちがたくさんいます。そこで懸命に働く榎戸先生に、遠い岩見沢からの応援を届けましょう。



ガラガラッ

「できたよー！」
成功するとおへやに来て先生に報告してくれるくらい嬉しいおなごです。

よかったね！

そんなときは先生も大喜び。Wでうれしは100倍！
今日もあちこちでよろこびあっています。

うんちはネ...

「なんどうんちがだいじなの？」